

♪おいらみさきの～灯台守は～♪



へき地や離島で24時間
365日灯台を守った、
灯台守の妻の手記から映画
「喜びも悲しみも幾歳月」
の舞台になりました。



手記を書いた
田中 きよさん (右)
灯台守のご主人
田中 績さん (左)

♪憎や恋しや塩屋の岬♪

美空ひばりさんの
名曲です。
「みだれ髪」
で歌われています。



アクセス

- ☆鉄道・バス等
 - ・JR常磐線いわき駅下車
いわき駅前～（新常盤交通バス江名経由9番）
～灯台入口下車（約30分）、徒歩約15分
- ☆自動車
 - ・常磐自動車道いわき湯本IC～県道14号、48号、
15号経由 約30分

参観時間

9時00分～16時00分	9時00分～16時30分
・通年平日	・3月～9月土日祝日
・10月～2月土日祝日	・4月29日～5月5日
	・8月10日～8月19日

悪天候の際は、のぼれない場合も
ございますのでご了承ください。日々
の参観状況につきましては、当会
HPをご覧ください。
<https://www.tokokai.org>



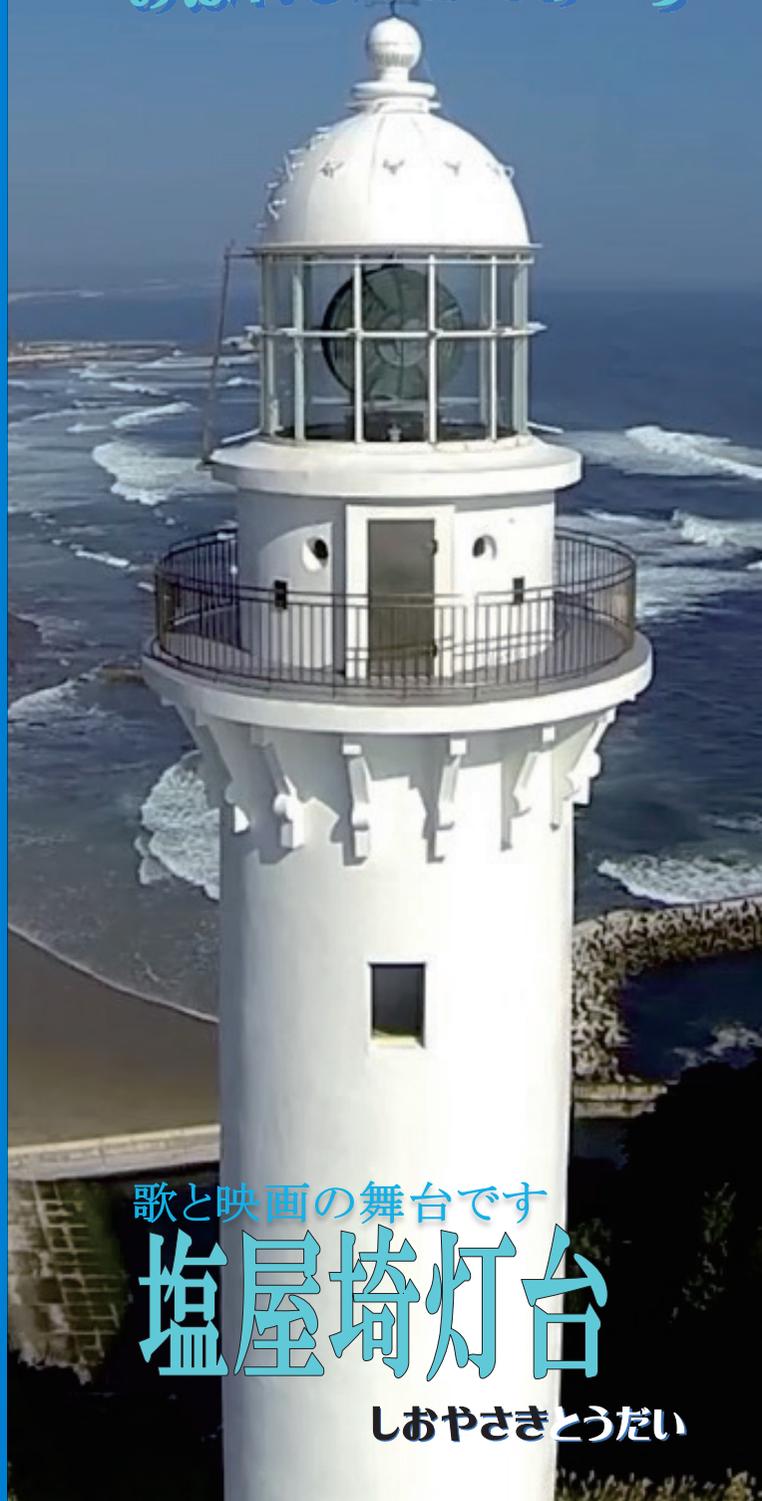
参観寄付金

大人 300円（中学生以上）
小学生以下及び障がい者（介助者1人まで）
の方はいただきません。

燈光会 塩屋埼支所

〒970-0223
福島県いわき市平薄磯字宿崎34
TEL：0246-39-3924（FAX兼）

のぼれる灯台16の一つ



歌と映画の舞台です

塩屋埼灯台

しおやさきとうだい

資料展示室

灯台からの景色も最高です

青森 平館灯台
で使用していた
水銀槽回転装置
とレンズ

初代灯台のレンガ

灯台模型

【この灯台の概要】

○位置

北緯 36度59分42秒 東経 140度58分55秒

○光り方

15秒に1回発光

(沖合の船舶から灯台を見た場合、回転するレンズから放たれる光を15秒ごとに見ることができます)

○レンズ

第3等大型フレネルレンズ

(複数のプリズムを組み合わせることにより軽量化されたレンズで、「フレネル」とは、フランス人開発者のフレネル氏の名前です)

○光源

メタルハライドランプ

(工場や体育館の照明に使われている強い光を発する長寿命の電球です。)

○光の強さ

440,000カンデラ

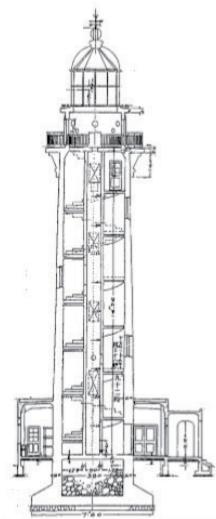
(「カンデラ」とは、光源の強さを表す単位です)

○光の届く距離

22海里 (約41キロメートルです。1海里は1,852メートルです)

○灯台の高さ

灯台の基礎部から灯台の頂部まで、27.3メートル



現灯台の断面図

塩屋埼灯台の歴史

明治32年点灯開始の際には、日本一の高さを誇る大灯台でした。

(その後明治36年出雲日御碕灯台建設)

昭和13年11月の福島県東方沖を震源とする地震により、灯器、レンズ、灯塔にも多数の亀裂を生じ、

昭和15年3月に現在のコンクリート造に生まれ変わりました。

そして、太平洋戦争が激しくなり、

昭和19年には白亜の灯台もペンキで灯塔に迷彩を施しました。

昭和25年には大規模な戦災復旧工事が行われ、レンズは新替えされ、外壁も塗装されて灯台本来の白亜の姿に戻りました。

平成23年東日本大震災では上部のガラスが割れ、敷地が崩落するなど被災しましたが、約9ヶ月後に復旧し、約3年の年月を経て参観を再開しました。幾多の苦難を乗り越えてきた塩屋埼灯台は、いわき市のシンボルとして光を照らし続け令和元年点灯から120年を迎えました。